

第15回 道徳授業パワーアップセミナーのご報告

先端教育人材育成推進機構 上廣道徳・倫理教育研究開発推進室

～ ご提出いただいたアンケートの結果などをもとに ～

本学の「道徳授業パワーアップセミナー(第15回)」は、昨年度に引き続き、右の日時と場所において、対面&Zoomによるオンラインのハイブリッド形式で行われました。

- 日時: 2025(令和7)年8月9日(土)
10:30～17:00 (オンラインとのハイブリッド)
- 場所: 東京学芸大学 S410教室

このセミナーは、変化の激しい現在の社会をみすえながら、将来における子どもたちの豊かでたくましい生き方を促すために、これからの道徳教育の在り方について、参集いただいたみなさまと深め合い、実践的指導力を高めることを目的としています。第15回目となる今回は、今までの実施を踏まえ、下記の通りテーマを設定して実施されました。

令和を生きる子どものための道徳授業をつくる

セミナーは、下記のプログラムの通り、4つのSECTIONに分けて実施されました。午前のSECTION①は、授業づくりの参加型ワーク、午後からのSECTION②は2つの講話、SECTION③は5名の報告者による3つの授業実践提案及び報告が、それぞれ行われました。最後のSECTION④では、3名の登壇者によるパネルシンポを行い、さらに前の3つのセッションの登壇者、フロア内の参加者を含めた協議で、当日得られた様々な学びを全員で深め合う時間を持ちました。内容の詳細につきましては、事前配布のプログラムおよび当日配付された資料をご覧ください。

当日のプログラムの骨子

- SECTION ① 参加型ワークで学び合う
道徳科における体験的な学びを体験しよう
- SECTION ② 講話を生かして視野を広げる
道徳教育の現在とこれからの姿を考えよう
- SECTION ③ 提案と報告からイメージを温める
小・中・特別支援の事例でリアルに学び合おう
- SECTION ④ パネル討議でこれからの展望する
道徳教育の課題の先にある姿をえがこう



当日は、猛暑が続く中、東京都内や首都圏を中心に全国からご来場いただいた対面参加のみなさま、およびZoomによるオンライン中継をご視聴いただいたみなさまを合わせ、400名を超える多くの方々にご参加をいただき、熱く学び合うことができました。ご参加され、当セミナーを熱く盛り上げてくださったみなさまに、深くお礼を申し上げます。

以下、当日、対面とオンラインの参加者のみなさまからいただいた多数の貴重なアンケートをもとに、当日の様子をご報告させていただきます。

受講された方々によるアンケートより

終了後、対面とオンラインで参加された方々から多数のアンケートをいただきました。

■参加者及びアンケートの回答者

参加者は、以下のとおりでした。また、その中でおよそ半数弱の方よりアンケートにご回答いただきました。

参加者の内訳		回答者の内訳	
対面参加者	162名	用紙	33名
オンライン参加者	239名	オンラインフォーム	144名
合計	401名	合計	177名

■回答者の仕事・所属先

回答者の仕事・所属先についてうかがいました。その結果を以下のグラフにお示します。

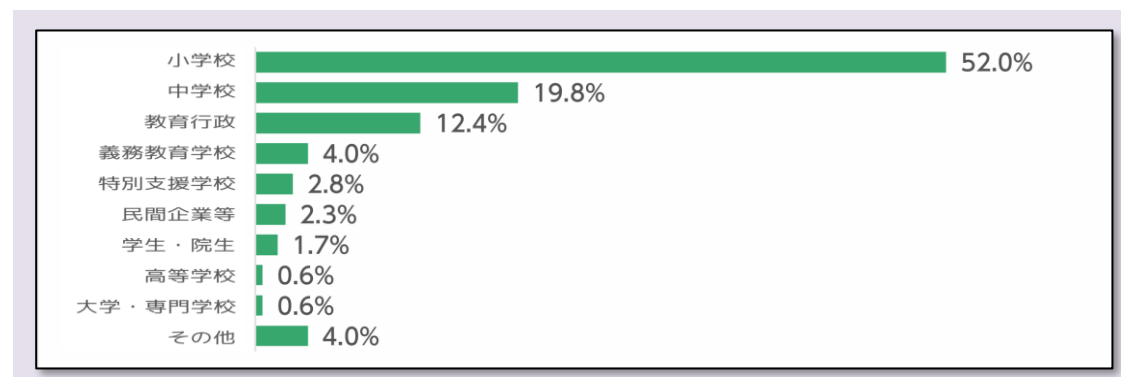


図1 仕事・所属先別参加者人数(割合)

この結果から、本年度も昨年度同様、小学校の教員が最も多く、続いて中学校の教員が多かったことがわかります。

■セミナーに参加した理由(2つまでの複数回答)

回答者が本セミナーに参加した理由について尋ねました。結果を以下のグラフにお示します。

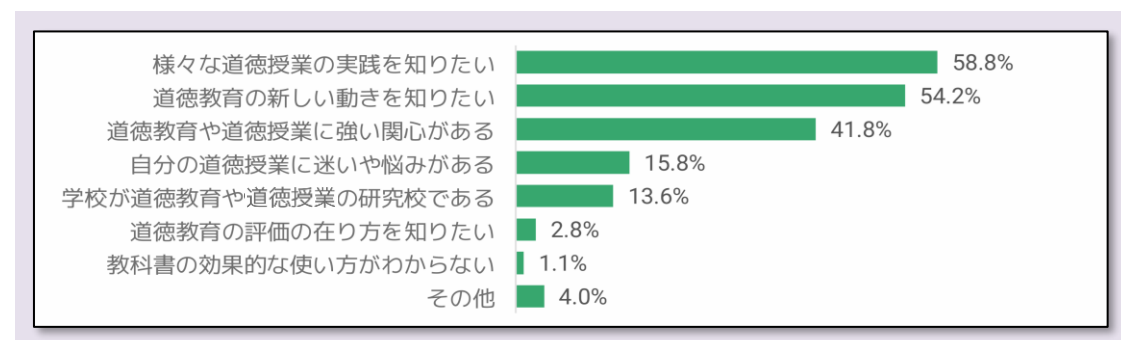


図2 セミナーに参加した理由(割合)

昨年度同様「様々な道徳授業の実践を知りたい」が最多となる一方、今年度は「道徳授業の新しい動きを知りたい」の順位が上昇しました。次期学習指導要領の改訂作業が進む中、次の時代における道徳教育の動向に対する関心の高まりがあると考えられます。

また、「教科書の効果的な使い方がわからない」「道徳の評価の在り方を知りたい」については、本年度も引き続き少なくなっており、教科書から数年を経て活用方法や評価の在り方が広く共有されてきていることがうかがえます。



■本日のセミナーについて感じたこと

セミナーの感想について以下の3つの項目を尋ねました。

1. セミナーの内容は理解しやすかったですか
 - 1 とても理解しやすかった
 - 2 理解しやすかった
 - 3 どちらとも言えない
 - 4 やや理解しにくかった
 - 5 理解しにくかった
2. セミナーに参加して道徳授業の見方や考え方が変わりましたか
 - 1 とても変わった
 - 2 変わった
 - 3 どちらとも言えない
 - 4 あまり変わっていない
 - 5 変わっていない
3. セミナーで学んだことは、あなたの仕事や研究などの役に立ちそうですか
 - 1 とても役に立つ
 - 2 役に立つ
 - 3 どちらとも言えない
 - 4 あまり役に立たない
 - 5 役に立たない

結果は、以下のとおりとなりました。

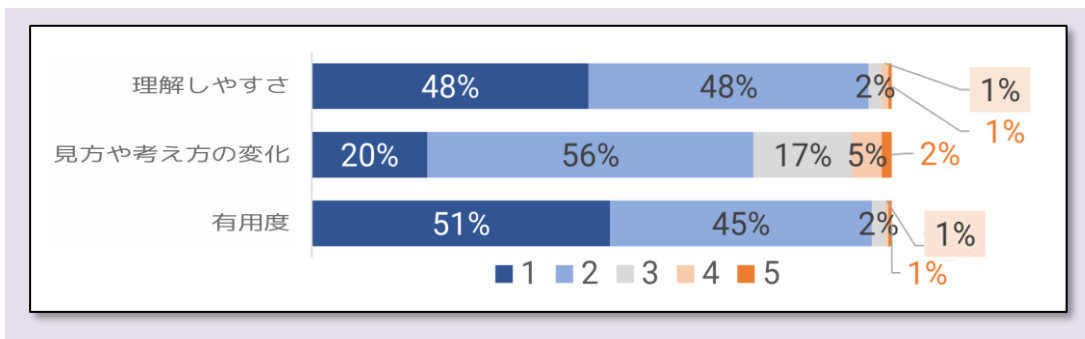


図3 セミナーに関する感想項目別人数

どの項目も、1・2の有定的な回答が多数を占めていました。見方や考え方の変化については、3～5の中立・否定的な回答の割合が他の項目に比べて高くなっています。

道徳の教科化から時間が経過し、本セミナーが15回目となることから、道徳教育の基本的な見方や考え方がすでに広く共有されているのではないかと推測されます。



■ 道徳教育や道徳授業の見方や考え方について、新たに得たことや、変わったこと(自由記述)

上記の質問について、自由記述によっていただいた回答のテキスト分析結果を以下に示します。

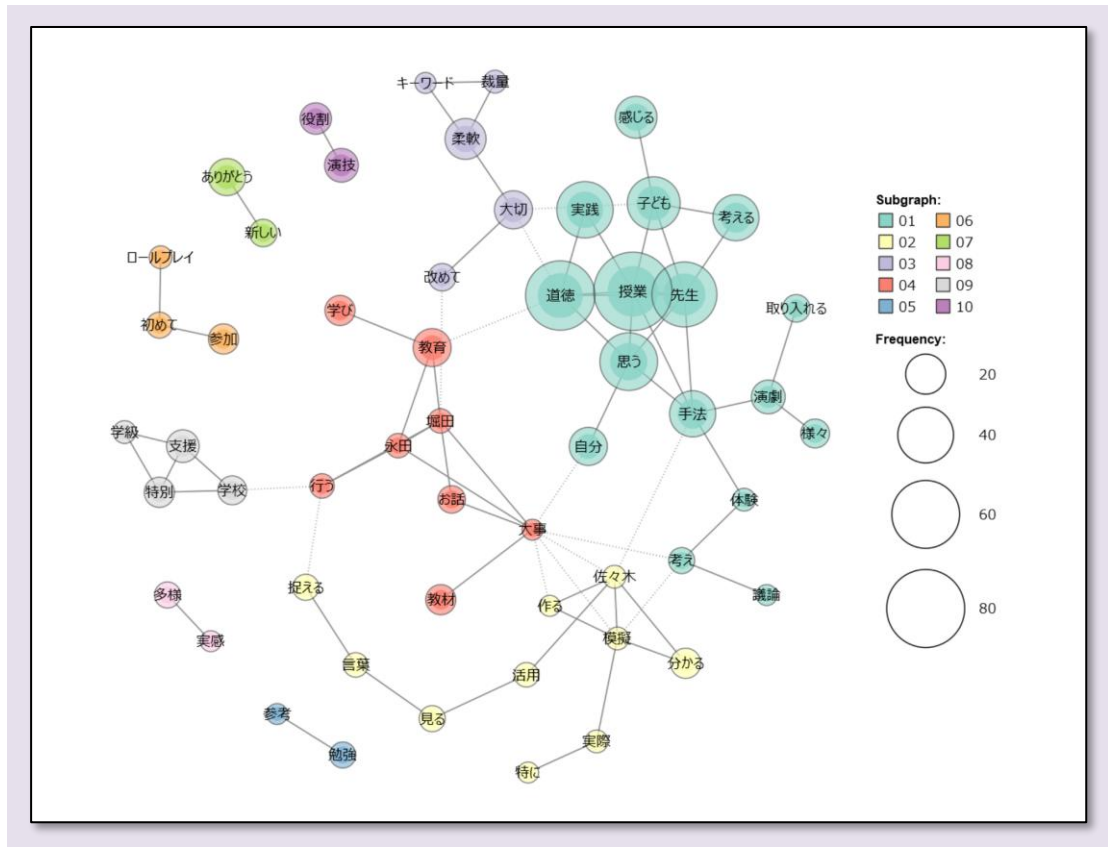


図4 「新たに得たことや変わったこと」についての回答のテキスト分析(共起ネットワーク)

テキスト分析の結果、道徳授業の実践手法について関心の高いことがうかがえます。午前にも実施した参加型ワークで紹介された演劇的手法についても、多くの方が興味を持っていたいただけたようでした。

【自由記述の実際から・一部】

いただいたご回答の一部をお示しいたします。

(回答内容の一部を抜粋し、表現については調整している部分があります。)

- 演劇的手法について、ロールプレイングのイメージしかなかったが、ホットシーティングなど様々なやり方があることを知って、授業に取り入れていきたいと考えました。
- 今まで型にハマっていたと感じました。柔軟に、多様という言葉が印象に残っている。価値項目を子供に押し付けるのではなく、教師は伴走者になり子供に任せて、考えさせて学ばせるということが大切だと学びました。
- 個別最適な学びを実現するために、総合単元的学習やパッケージ型ユニット学習などを取り入れ、道徳の授業の在り方が変化してきているので、今後も柔軟に対応できるように私自身も勉強していきたいと思いました。
- ①柔軟な授業のあり方が求められていること、
②日本の道徳授業のやり方(考え議論する)が一定評価できると、
③演劇的手法を取り入れた授業も様々な手法があることなどを知る機会になった。
…②については、知的障害がある場合、考え議論するが難しく、先生方に上手く波及できない壁になっていると感じます。そこをどう突破していくかがやはり大切だと改めて感じています。

(次ページへ続く…)

- 1単位時間に複数の内容項目に触れていく実践や、大主題を設定して複数時間扱いとすること等、柔軟な授業展開のあり方の可能性を感じました。
- 特別支援学級・学校での実践を学ぶ機会がなかったので、セミナーで学ばせていただきました。現在、通常学級を担任していますがクラスに支援が必要な児童がおり、またどの児童にとっても実体験や生活に基づいた取り組みが考え話し合う上で有効な手立てであることは同じだと感じました。
- 進化した続けている道徳教育について、様々な実践や先生方の考えを通して学ぶことができました。子どもがこれから自分でハンドルを握って生きていけるような教育を心がけていきたいと思いました。

■道徳教育や道徳授業に関するセミナーで、今後期待したい内容(自由記述)

上記の質問について、自由記述によっていただいた回答のテキスト分析結果を以下に示します。

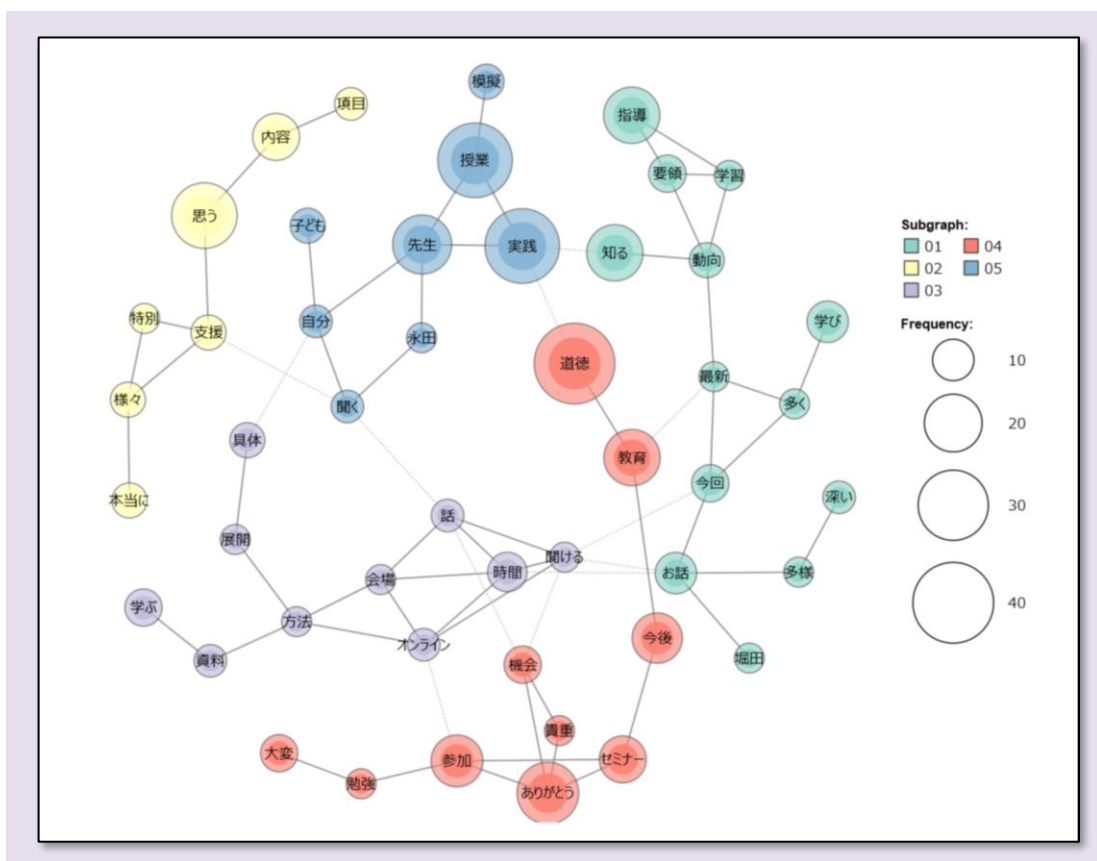


図5 「期待したい内容」についての回答のテキスト分析(共起ネットワーク)

テキスト分析の結果、道徳教育の今後の在り方や、授業実践報告の内容についての関心の高さがうかがわれます。

今回取り上げられた特別支援学校での取り組みに関しても引き続き関心をお持ちいただけているようでした。



(次ページへ続く...)

【自由記述の実際から・一部】

いただいたご回答の一部をお示しいたします。

(回答内容の一部を抜粋し、表現については調整している部分があります。)

- ◆子どもの意思、発言からつなげて授業をつくる実践、ロールプレイを体験してみたいです。
- ◆先進的な授業方法や展開等を学ぶことができ、モヤモヤ感をこのセミナーで解消させていただいています。次年度は、仲間を連れて参加させていただきます。たくさんの資料提供をありがとうございました。
- ◆様々な切り口で工夫して開催いただき、ありがたいです。特別支援学校の実践も引き続き扱っていただけると嬉しいです。
- ◆朝の部のように、会場にいる方を生徒役にして模擬授業を受けたいです。もしくは、実践報告される先生方の授業動画を見たいです。
- ◆シンポジウムで登壇された方のお話を聞く時間が増えたら嬉しいです。(登壇された方どうしのお話、会場からの質問等) ほか

いただいたご意見やご感想を、今後の本セミナーや本学の道德教育に関する事業全体の改善に活かしていきたいと考えております。

多数の貴重なお声をいただき、誠にありがとうございました。



東京学芸大学
先端教育人材育成推進機構
上廣道德・倫理教育研究開発推進室
<https://kokoro.u-gakugei.ac.jp>
kokoro@u-gakugei.ac.jp